

2020年11月30日

兵庫県社会保障推進協議会  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5-3-7  
兵庫県民医連内  
電話 078(303)7351 / FAX 078(303)7353  
Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

\*確定申告学習会 12月10日(木)14時、保険医協会6階  
\*生活保護基準引き下げ違憲訴訟第23回裁判 &  
兵庫生存権裁判を支援する会第14回定期総会  
12月17日(木)14時、神戸地裁  
\*近畿ブロック懇談会 1月10日(日)  
\*第64回兵庫県母親大会 1月11日(月・祝)  
西宮市民会館、10時～分科会、13時20分～全体会  
記念講演「記者の目からみた政治とマスメディア」  
望月衣壱子(東京新聞社会部記者)

# 第11回地域医療を守る全国交流集会 全国127回線で視聴

🍊🍌🍓 「医療の市場拡大が全世代型社会保障改革のねらい」 🍌🍓🍊  
国民はの望むべき医療とは「所得に関係なく医療の中身は同じが良い」



第11回地域医療を守る運動全国交流集会が11月23日(月・祝)日本医療労働会館で開催しWEB配信されました。全国127回線でアクセスされ、兵庫県社保協では兵庫県保険医協会を中央視聴会場として8名が視聴。社保学校とも位置づけ、地域の病院統廃合反対で取組む「地域医療を守る会」にも視聴を呼びかけました。記念講演で「コロナ禍の日本～全世代型社会保障政策を撤回し、安心・安全の地域社会を」と題し、立教大学の芝田英昭教授が講演しました。

芝田教授は、「新型コロナに感染する人は自業自得」と回答するアンケート結果が海外各国に比べて日本が突出して多い結果(大阪大学三浦麻子教授ら調査)を報告し、日本では1950年代から健康維持を自助努力にいちづける方針を進めてきた背景を説明。病床削減、保健所体制後退を進めてきた政策と、「安倍政権の全世代型社会保障改革は、単純に全世帯の負担増を狙っているだけではなく、究極の目的は社会保障を縮小し健康・医療産業を財界の新たな儲け先として開拓していくこと」と解説しました。

新型コロナ感染拡大で、日本の医療体制の脆弱さが露呈する中、全世代型社会保障検討会議内でも「医療や介護のシステムが、日頃から余裕を持っておくべきことに気づかされた」等、これまでの医療政策を見直すべき意見が出された一方、「疾病構造はコロナをへ

たからと言って大きく変わらないので基本的にはこの地域医療構想というものは粛々と進めるべき」との意見が交錯している状況を話しました。現在、「病床再編統合検証期限」「新公立病院改革プラン」が延期されているこの時期に「感染拡大の現状を持って病床削減は考えられない」と各地での運動の奮闘を呼びかけました。

講演の中で「国民が望む医療体制とは」とした調査結果(日本医師会「日本の医療に関する意識調査」2020年10月7日発表、7回目1200人有効回答)で、「医療の中身は所得の多寡に関係なく同じが良い」との答えが74%ある結果も報告されています。

日本医療労働組合から基調報告がされ、秋田県、東京都、石川県、静岡県をはじめ全国の地域医療を守るとりくみの報告と意見交換がされました。



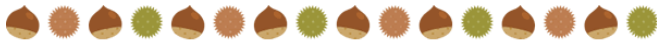
兵庫県社保協は、兵庫県知事あてに「兵庫県地域医療構想」の凍結、医療体制充実への変更を求める要望書を作成し、「地域医療を守る会」とも連携して申入れを計画しています。

また、「いのち署名」を重点署名として位置づけました。署名用紙を無料で用意し加盟団体に取組みを呼びかけています。(県社保協事務局長 堤 匠)

# 介護・認知症なんでも無料電話相談 兵庫で9件 全国で265件

## 「コロナで困難合わさる」「自助・互助十分、公的介護の不足」

介護・認知症なんでも無料電話相談が11月11日(水)全国24都道府県で一斉に取り組み、265件の相談が寄せられました。兵庫県社保協では、相談員を福祉保育労組兵庫地方本部、兵庫民医連、福祉ネット星が丘から協力を得て、9件の相談に対応しました。



病院で介護従事者として派遣で働いていた女性(20代)から、新型コロナ対策で政府から支給される慰労金について「病院も派遣会社からも申請してくれなくて」と相談。父親(70代)が脳梗塞で入院しているが、面会が制限され状況が把握できない。など、新型コロナウイルスの影響による困難が合わさった特徴を持つ相談がありました。



妻を介護する夫(80代)は、「希望する時間にヘルパーに入ってもらえない」など、介護サービスへの不安を抱え、事業所やケアマネ、市などに相談したが希望する介護はかなわず、「介護保険制度のことを知りたい」と問い合わせしてきました。



障害のある弟(60代・独居)の介護をする兄(70代)は、毎朝6:30に弟宅を訪問し家事支援をしています。兄自身も高血圧で心臓病があり、少ない年金生活と困難な状況での介護です。「どこに相談しても『無理しないように』など言われ、他人事のようにしか聞こえない」。政府の対応策のGo To Travelを批判し「旅行なんて金持ちだけのもんや、こっちは毎日が弟の介護や」と不満を訴えました。

老々介護の現場では自助・互助は十分に果たしており、公的な介護の不足がわかる相談でした。



その他、「自分の体調不良や親が遠方在住のため、介護ができずに負い目を感じている」「認知症対応への不安」「介護費用がどれくらいかかるか分からない不安」など、相談内容は多岐にわたりました。

相談員は、話を聞き共感するなど、具体的な対応につなげる部門を紹介するなど、対応しました。

福保労兵庫支部の相談員は「介護保険ができて20年たっているが、使ってみたら使いにくい現状があり、不満を持った相談が多かった」と話しました。

(県社保協事務局長 堤 匠)



相談員の電話対応



### 第8期介護保険制度改定にむけた運動

兵庫県社保協では、第8期介護保険制度改定(2021年度～2023年度)にむけて運動方針を確認しました。

第8期介護保険料は今年度中に策定される各市町の第8期介護保険事業計画で計画素案(介護保険料含む)が提示され、来年2～3月の議会で介護保険条例改正で決定します。各地域で、介護保険事業計画策定と介護保険料改定に向けた要求を提出し、交渉や懇談を行いましょ。来年1月ころにかけてパブリックコメントが募集されると思われま。県社保協では、「パブコメ案」「要望書案」を作成しま。県内全自治体に要望し、多くの介護事業所などから意見をあげることを呼びかけま。

地域社保協への提起として、①自治体の第8期介護保険事業計画策定スケジュールを確認しましょ。②第8期介護保険計画への要求を意思統一し、要望書提出しましょ。③パブリックコメント投稿運動をひろげましょ。④自治体交渉で困難事例を示し改善要求しましょ。以上の行動を呼びかけま。

(県社保協事務局長 堤 匠)



確定申告学習会 12月10日(木)14時～  
感染対策のため、事前申し込みが必要です。  
当日は、資料代500円、電卓持参下さい!